

前橋育英高校報

発行
前橋育英高等学校
広報委員会
前橋市朝日が丘町13
☎027-251-7087

印刷
株式会社ヤマザキ

創設の原点に立ち返り 特色教育の実践を

群馬育英学園理事長

武田 孝雄



二十世紀最後となる第二十七回夏季オリンピックが九月十五日、シドニーの五輪スタジアムで開幕、世界一を目ざして各競技の熱戦の火ぶたが切られた。サッカー日本代表のメンバーとして、松田直樹君は前回のアトランタに続き、オリンピック連続出場で、この快挙は本人は勿論、「前橋育英」の名譽であり後輩達に大きな夢と希望を与えてくれました。

前橋育英高等学校は創設三十八年目を迎えました。特に昭

和五十八年、創立二十周年記念事業としての新校舎建設を契機に新しい学校創りが進められました。即ち特別進学コースの充実・スポーツ振興のための体育科設置等々、まさに文武両道の「前橋育英」を目ざし、学園・教職員が一体となって、特色教育の実践に努力して今日に至りました。これまでの成果は保護者会・同窓会・後援会の本校教育の推進に対する深いご理解と、物心両面にわたるご支援・ご協力のたまものと感謝いたしております。

さて、最近、青少年の犯罪や非行が、社会問題としてとりあげられ、教育改革の必要性が大きく叫ばれておりますが、これ

からの時代は物質や経済優先の社会から共生の時代、人と人との思いやり・いたわりあいの精神が中心となる社会づくりが要求されます。「正直・純潔・無私・愛」の本校建学の精神は、まさに教育の原点であります。二十一世紀は少子化時代の進行と同時に、国際化・情報化が一層進展し、著しい社会構造の転換が予測されます。そのような社会変化や時代のニーズを的確にとらえ、幅広い教育とともに時代に求められる専門知識を先取りして、特色ある教育を実践することが、本学園の使命であります。

学園では、来年度に向けて、国の政策・提言を先取りした育英短期大学の学科改革を試みております。前橋育英高校としても、地域社会へご父兄・また、一五、五〇三名の卒業生の皆さんの母校に対する熱い思いと期待に応えるためにも、創設の原点に立ち返り「前橋育英」ならではの教育の実践を旨として教職員一体となって努力したいと念願しております。

学校カウンセラーの配置

生徒相談に威力発揮

学校長 中川 豊美



文部省がこの八月に学校基本調査速報を発表した。これによると、不登校により昨年度中に三十日以上学校を休んだ小・中学生が十三万人を越え過去最高となった。しかし、前年度比伸び率は、この調査を始めた九一年以降最低となったとしている。文部省は伸び率が鈍化した理由として、カウンセラー配置校における不登校児・生の増加率が小・中学校ともに、全体の増加率を下回っていることを指摘し、「スクール・カウンセラーや心の教育相談員の配置が進んだこともあるのではないか」としている。

松田直樹選手

シドニー五輪へ連続出場!!!

写真提供 日刊スポーツ

わが前橋育英の卒業生、松田直樹選手(横浜Fマリノス)が前回のアトランタに続き今回も連続出場を果たした。緒戦の南アフリカ・スロバキアに連勝・強豪ブラジル戦で健闘・決勝トーナメントに進出・アメリカ戦PKで敗れる。

ブラジルD組1位	日本	本D組2位
カメルーンC組2位	日	本C組1位
チリB組1位	ス	本B組2位
ナイジェリアA組2位	イ	本A組1位

トルシエ監督と松田選手(中央)

高校においても、小・中学校ほどではないが、不登校による長期欠席者や、教室で他の生徒と一緒に授業が受けられない生徒が増加する傾向にある。本校においてもそのような生徒にたいしては、担任や教育相談係の先生が中心となって、個別に相談のり指導助言を与えてはいるが、結果的に退学をする生徒も生じていた。

本校ではこの対策として専門カウンセラーの配置を検討してきたが、幸い今年の四月から看護婦免許とヘルスカウンセリング学会認定のヘルスカウンセラーである富山美佳子先生をお迎えすることができた。今年度は先生の都合で毎週木曜日のみではあるが、カウンセラー室の雰囲気もよく、生徒も安心して相談できると好評で、成果は着実に上がってくるものと期待している。

また、先生方に対する講習会もお願しい、教師全員が生徒相談のより専門的な知識と実践を学ぶことにより、これらの問題に学校あげて取り組む体制を作りつつあるところである。

- (二面)
 - おあいさつ
 - 理事長/校長
 - 学園の精神
 - 松田直樹選手オリンピック連続出場
 - 定期演奏会
 - 茨城県同好会公演
 - 茨城県生徒会工事
 - 水泳部の活躍
 - スポーツだよりインターネットハイ、国体
- (四・五面)
 - 県高校対抗陸上
 - 同窓会だより
 - おあいさつ
 - 会長/副会長
 - FITA調保研修日程
 - 行事予定
 - 大学訪問
 - 中川校長受おめでとう!!
 - 遠征演奏会開催
 - 同和教育アンケート
 - サッカー県大会組み合わせ
- (六面)
 - 同窓会だより
 - 会長あいさつ
 - 小沢田先生
 - 親子二代同窓生
 - 私の近況報告 三名
 - 八面
 - 後援会だより
 - 会長あいさつ
 - 水泳女子表彰
 - 定期校会
 - コラム
 - 広報委員メンバー

建学の精神

正	直
純	潔
無	私
	愛

創立者 中村有三

定期演奏会開催

顧問 深沢準一

来たる十月二十一日(土)に、本校吹奏楽部第二十七回定期演奏会が前橋市民文化会館に於いて開催される。本年度は少人数ながらも、ニュージブランドからの留学生、ジェレミー・ウィルソン君を加え、非常に精力的な取り組みをしてきた。特に八月に開催された吹奏楽コンクールでは見事金賞を受賞し、審査員の方々から多くの賞賛の言葉を頂くことができた。その理由とも言えるべき本校吹奏楽部の魅力はやはり、大編成に負けないスピード感と躍動感あふれる演奏、そして何よりも一人一人が音楽を楽しむ追究していることと姿勢にあると思われる。演奏会でもこのような魅力を充分発揮できるよう、顧問並びに部員一同、日々邁進しております。また開催に伴い、ダンス部員や関係職員の方々には毎年惜しまぬ協力をして頂き、感謝の念に堪えません。是非一度、ご来場頂き、ステージ上で生き生きと輝く生徒達の演奏・演技を味わって頂きたいと思っております。



劇同好会

高校芸術祭演劇部門 中毛地区大会参加

顧問 鈴木尚子

去る九月十六・十七の両日、平成十二年度高校芸術祭演劇部門中毛地区大会が開催されました。育英高校演劇同好会は、古城十忍作「眠れる森の死体」を上演致しました。

今大会は、演劇同好会が発足してから三回目の参加となり、回を重ねるごとに部員達もたくましさを増してきました。迫力ある熱演で、審査員の先生方に、すべてがクライマックスのようであり息づまる場面の連続だったとの評を頂きました。また、空き地の雑草や捨てられた死体入りのベッドなど、試行錯誤を重ねながら創りあげた舞台美術

にお褒めの言葉を頂いたのも、部員達にとっては大きな喜びでした。残念ながら、県大会出場はかなえられませんが、参加した部員達には次回作へとつながる、いい勉強になったことと思います。

今後の活動としては、十一月十八日の県高等学校総合文化祭に参加し、新作を上演する予定です。ぜひお出かけください、練習の成果を観て頂ければ幸いです。



舞台風景

誠心館外装工事完成



かねてから懸案の誠心館の外壁塗装改修工事が夏休み中に実施されました。昭和五十七年以来、実に十八年ぶりの改修です。この建物は昭和三十九年竣工の校舎で、現在の校舎群では最も古い建物ですが、その割にはくたびれを感じさせない堅牢な造りです。

N記

平成13年度生徒募集

教頭 高田 孝



昨年の入試は、理数コース・特文コースの定員確保に厳しさが出てしまった。受験者数はむしろ若干ではあるが増加している。そのプロセスに問題があったと思われる。すでに分析は済んでいるので、来年度の巻き返しを期待したい。

体育科の募集は、中学校にない部活の希望者が少なく、募集にあたる顧問を悩ましている。各中学校にはお願いはしているのだが、なかなか集まらないのが現状である。あらゆる機会を通じて、更に希望者を募りたいと考えている。

【募集内容】

募集定員は、昨年と同じ数である。選抜方法も例年通りである。昨年、特待生入試の合格発表時にA・B・Cの合格ランクの下に「一般入試の学力試験の免除」を設けたが、面接で問題

になることはほとんどなく、合格になった。来年度は「学科免除」ではなく、この時点で合格とする「Dランク」を付加する。ただし、特待生として免除される特典はない。これによって受験生は安心して公立を併願できるだろう。

推薦入試・一般入試における体育科の実技テストの一部が変更になった。昨年まで全員に実施してきた体力測定を廃して、指定部活の専門実技のみを実施する。ただし、中学校にない部活があるので、願書受付時に指定十二クラブすべての実技テストの内容の一覧を受験生に渡すことになった。体育科を希望する受験生の不安を少しでも解消できればと思っている。



新井次男氏(右)奇麗の水彩画「菊薫る」左は中川校長(第2期生)

【募集要項(概要)】

- 一、募集定員 合計五百二十人
- 普通科 男女 三百六十人
- 理数コース 八十人
- 特進文系コース 八十人
- 進学コース 二百人
- 体育科 男子 八十人
- 保育科 女子 八十人

二、試験日程

◎特待生および推薦試験

試験日 特待生 一月十七日

推薦 一月十八日

合格発表 一月二十五日

◎一般試験

試験日 二月一日(学力)

二月二日(面接)

合格発表 二月八日

※詳細は募集要項をご覧ください。



学校ホームページ <http://www.maebashiikuei-h.ed.jp/index.htm>

スポーツの結果



体育科長
中村隆喜

◆インターハイ◆

二年連続優勝

五位入賞

女子水泳飛込学校対抗
(片平真貴・岸美菜子入賞)
男子柔道60kg級(八山泰光)
男子混成陸上(森田行雄)

「切り開け岐阜から未来の一ペーシ」をスローガンに高校スポーツの祭典、平成十二年度全国高校総合体育大会が八月岐阜県で開催された。本校からは9クラブ六十名の生徒が県代表として出場した。今年も各クラブが活躍したが、特筆すべきは女子飛び込み団体で昨年に続いて二年連続優勝の偉業を成し遂げた。各部の成績は次の通りである。

〔水泳〕

飛び込みⅡ女子団体優勝・個人女子高飛び込み第三位・片平真貴(3-7)、第四位・岸美菜子(3-4)、女子板飛び込み第四位・片平真貴(3-7)、第五位・岸美菜子(3-4)、男子二百m背泳ぎ予選第一位・

月田康之(2-A)、四百mメドレーリレー予選第七位・月田康之(2-A)、田中聡(3-6) 青井政貴(2-B)、宮崎一起(3-A)、八百mリレー予選第七位・宮崎一起(3-A)、土橋卓(3-B)、福島瑞樹(3-B) 上原一成(3-A) いずれも予選敗退

〔陸上〕

男子八種競技第五位・森田行雄(2-B)、同十六位・小池豊和(2-B)、二百m準決勝第七位・森田行雄(2-B)、四百m予選第三位・森田森(2-B)、千五百m予選第九位・樺沢知紀(3-B)、四百mリレー予選第七位・蜂須賀雅(3-6) 永田祐也(2-B) 斉藤歩

(2-B) 井汲亮介(1-A)、千六百mリレー予選第七位・斉藤歩(2-B) 小池豊和(2-B) 佐藤幸夫(3-A) 佐藤剛(1-A)、走高跳予選落ち・中矢敬大(2-A)、棒高跳予選第十二位・加藤隆行(3-B)、五千m競歩予選第十位・山本康樹(3-B)、同第十五位・小林正敏(3-B)

〔柔道〕

100kg超級三回戦・萩原隆介(3-A)、60kg級第五位・八山泰光(3-B)

〔フェンシング〕

個人フルレール第十六位・桜井俊彦(3-B)、団体第十六位・桜井俊彦(3-B) 佐藤優太(3-A) 結城宇基(2-B) 佐藤孝宏(1-B)

〔自転車〕

ポイントレース・諸田靖幸(3-A)、四千m速度競走・摩庭健策(2-10)、エリミネーションレース・恩田一平(3-B)、スプリント・埴田孝(3-A) いずれも予選敗退

〔ウエイト〕

53kg級第十五位・犬飼博文(2-A)、56kg級第十八位・奥木靖(3-B)、同二十一位・星野孝幸(3-A)、85kg級第二十位・福岡勉(3-A)

ライトウェルター級二回戦・萩原裕介(2-1)、ライトミドル級一回戦・茂木謙介(2-B) シングルス二回戦・竹島郁朗(2-2) (女子テニス) シングルス二回戦・坂本麻衣子

◆第55回国民体育大会◆

女子飛び込みも活躍

第五十五回国民体育大会は富山県において、夏季大会が九月九日〜十二日に行われ、水泳部がOBも含めて活躍した。なお秋季大会は十月十四日〜十九日まで同地で開催される。本校からは生徒・OB・教諭含めて8クラブの二十八人が参加するが、今年も選手団の健闘を大いに期待したい。

〔夏季大会〕
◎水泳Ⅱ少年女子飛び込み予選第三位・片平真貴(3-7)、少年女子高飛び込み第五位・岸美菜子(3-4)、少年男子二百m背泳ぎ予選第五位・月田康之(2-A) 成年女子自由形予選第三位・深見円(東女体大)、混合女子二百mリレー予選第六位・高見沢道代(日体大)、成年男子高飛び込み第十位・壽島泰士(天理大)

〔秋季大会参加者〕
◎陸上Ⅱ森田行雄(2-B) 井

(3-6)、同一回戦・新保紗弥加(3-2)、ダブルス二回戦・坂本(3-6) 新保(3-2)、団体一回戦・松田香織(2-3) 金子理恵(3-4) 新保(3-2) 坂本(3-6)

汲亮介(1-A) 安達友信男子監督(教諭)
◎サッカーⅡ青木剛・笹本優・中野和彦(3-B) 岡本勇輝(2-A) 相川信也・須田剛史・坪内秀介(2-B)
◎ウエイトⅡ福岡勉(3-A) 奥木靖(3-B) 山田正晴(日体大) 村山厚史(法政大) 高橋仁(群馬総合GS) 榎原道雄成年監督(前橋市公園スポーツ施設公社) 原徹少年監督(教諭)
◎柔道Ⅱ萩原隆介(3-A) 八山泰光(3-B)
◎アーチエリーⅡ山本周(3-5)
◎フェンシングⅡ桜井俊彦(3-B) 御供聖(中央大) 砂山雄一郎(高崎商科短附高教諭) 畔上裕嗣(群馬ロイヤルホテル) 中村博一(県藤岡行政事務所)
◎自転車Ⅱ狩野良太(法政大)
◎テニスⅡ坂本麻衣子(3-6) 新保紗弥加(3-2)

野球部

○中毛リーグ○

8月20日	対尾瀬	10対0	勝(5回コールド)
21日	対前橋東	7対1	勝
22日	対玉村	11対1	勝(5回コールド)
23日	対市伊勢崎	13対3	勝(7回コールド)
24日	対渋川	8対1	勝(7回コールド)
25日	決勝トーナメント		準決勝 対沼田 2対4 負

○秋季大会○

9月9日	1回戦 対沼田	11対3	勝
16日	2回戦 対新田	7対3	勝
23日	3回戦 対桐工	11対1	勝(ベスト8)
10月1日	4回戦 対桐生		

県高校対抗陸上



第五十三回県高校対抗陸上競技大会は九月九日に開催され、本校陸上部(男子I部)が三年ぶり二回目の優勝を飾った。特に一六〇〇mリレーでは苦しいレース展開で、永田祐也(2-B) 小池豊和(2-B) 高橋朋輝(1-A)の時点では三位と出おくれ、アンカー森田行雄(2-B)が前工と農二を走し、逆転のゴール!!

保護者会だより

生きていることは競争をしていると言ふ事



保護者会長 福井 久

日頃、保護者会活動に對しまして多大なるご支援ご協力を頂きまして、誠に有り難うございます。九月十四日第二十一回関東地区私学父母の会 連絡協議会が大宮ソニックシティに於いて開催されました。大石教頭先生と二人で参加して参りました。私学助成をめぐる課題で、私に取りましては未知の新体験をさせて頂きました。又、この日は本部保護者会の皆様と先生方で前橋駅を中心にマナーアップ運動がなされました。大変ご苦労様でした。私も今期の新体制になりまして水上の県P連大会・大宮の関P連大会・東京武道館での全P連大会と大きな行事に参加でき無事に終了しひと安心しております。しかし、これからも学校においては多く

の行事が残っていますので本部役員の皆様のご協力を頂きまして後半の保護者会活動に取り組んで行きたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。今夜出張より戻りまして一週間分の上毛新聞を見ていました。県高校対抗陸上 育英男子一部三年ぶりV・・・とやま国休夏季大会 岸美菜子(育英校) 健闘の五位と、育英校が大変新聞で賑やかでした。我が子の活躍同様に・・・我が母校の大活躍に心が躍り、出張での疲れが吹き飛びました。ごらんになつていない保護者の方に、当日の新聞をここで再現してみます。(育英1600Rで突き離す) 男子一部は総合得点で最後まで追いつがる農大二を育英が最終種目1600メートルリレーで突き放し三年ぶり二回目の優勝を決めた。アンカー森田行雄は「三年生は最後の大会で気持ち良く終わって欲しかった。」と大逆転劇直後の言葉は弾んでいた。

苦しいレースだった・・・永田祐也・小池豊和・高橋朋輝で1200メートルをつなぎ三位でアンカー森田にバトンを託した。少しでも得点を増やす様に選手達は無理を承知で頑張った。「農大二に何としても負けたくなかった・・・」と総合優勝を喜びあった。という内容でした。私も子供達の熱い思いと頑張りを知った時、自分自身の仕事に強

い自信が沸いて来た次第です。レースに参加して、その競争意欲が高ければ高い程 充実した人生を生きている証だと思えました。永田君・小池君・高橋君・森田君、そして片平さん・岸さん、感動をありがとう。学校に卒業生に保護者会に勇気を与えてくれて・・・ありがとう。育英校の子供達の頑張り、深く感動した一日でした。

第五十回 全P連大会参加報告

副会長 静野 恵子



まだ夏盛りとばかりに続く暑さの中、八月二十五日(金)〜二十七日(日)の三日間、全国高等学校PTA連合会東京大会が、日本武道館を中心とし、各会場で開催されました。創造と飛躍―二十一世紀のPTA―をメインテーマに、今年度は、高P連創立五十周年という記念すべき大会でした。

吹奏楽、和太鼓、ソングリールディング、チアリーディングと、大勢の高校生達による心のこもったアトラクションに感動し、懸命なその姿に会場からは惜しみない拍手が送られていました。基調講演は、落語家三遊亭圓歌師匠の「日本の教育―過去・現在・未来―」との演題で始まりました。親には子供の躰がでけないと、師匠の元へ預けられた内弟子の話を通し、本来あるべきはずの親子関係、家庭とはどうあるべきかを、考えさせられました。また、師匠の親子関係では、親子の縁を切られてまで入った落語の世界。そして、その親達と共に生きた今日までの日々。毒舌とも思える言葉にも人としての愛を感じ、お互いを信頼し、思いやりを持って見守っているように思いました。

〈平成12年度 P T A 関係研修会予定〉

大会名	日程	場所	出席者
中毛地区高等学校 PTA指導者研究集会	10/13(金)	県総合教育センター(伊勢崎)	福井会長・福島英人・静野恵子 中川校長・静一行・岩田京子 井田順子・嶋田裕子・石秀石 東園和成 (10名)
県P連指導者研修会	11/22(水)	前橋市民文化会館	山本由美子・木村富美子 岩田京子
全P連創立50周年記念祝賀会	11/27(月)	都 内	
関東私学父母の会(私学振興全国大会)	12/8(金)	日比谷公会堂	

【行事予定】

- 印が保護者会関係
- 10月
- 1(日)〜5(木)秋季休業
- 3(火)募集要項説明会(中学校教員対象)
- 6(金)後期始業式・自転車点検
- 7(土)保護者会研修視察旅行
- 8(日)学校見学会(中学生対象)
- 12(木)漢字テスト・育英短期大学特別選考会
- 13(金)中毛地区高等学校PTA指導者研修会(県総合教育センター・伊勢崎)
- 14(土)前橋祭街頭補導(生徒指導委員会主催)
- 22(日)英検(一次)
- 23(月)〜25(水)中間試験
- 11月
- 2(木)保護者会総務文化合同委員会・体育祭
- 6(月)列車通学生指導
- 6(月)〜17(金)後期教育実習
- 15(水)第三回マナーアップ運動
- 16(木)避難訓練
- 19(日)英検(二次)
- 22(水)県P連指導者研修会(前橋市民文化会館)
- 27(月)全P連創立50周年記念祝賀会
- ・都内
- 29(水)スケート教室(体育科二年)
- 29(水)〜30(木)三者面談
- 12月
- 1(金)〜8(金)三者面談
- 8(金)関東私学父母の会(私学振興全国大会・日比谷公会堂)
- 11(月)〜14(木)三年卒業試験
- 12(火)〜13(水)後期試験
- 22(金)全体指導・大掃除
- 25(月)〜1/7(迄)冬季休業

大学訪問

日時 十月七日(出)
訪問先 大東文化大学(埼玉県東松山市)
駿河台大学(埼玉県飯能市)

主催・保護者会進路指導委員会

中川校長受賞 おめでとう!!

保護者会書記

静 一行

中川豊美校長先生が本年度県総合表彰を受賞され、育英高校の先生方の「洗心会」と保護者会とで去る七月十四日に、群馬厚生年金会館に於て和気あいあいとした雰囲気の中祝賀会を致しました。中川先生御夫妻は、



中川豊美校長県総合表彰 受賞記念祝賀会

終始満面の笑を浮かべ人生の佳境とは、この様な瞬間のことを云うのだろうか、私は拝見させていただきました。開学以来三十有余年順風満帆だけではない、かつたはずの私学マネジメント、中川先生のお人柄と、洗心会の

先生方の和の心とが相まって、公立高校全盛の時代に於て育英高校はこの様に目覚ましい発展をとげて来たのだと私は感じました。これからは、益々個性のある私学の良さがみなおされる時代になり、中川先生はじめ洗心会の諸先生方の御努力によりなお一層育英高校が発展して行くものと期待しております。

進路講演会開催

進路指導委員長 水出 準 一



夏休みに入つての去る七月十二日(土)標記の講演会が開催されました。講師は進路指導部長の久保田先生で、「激変する進路」という内容で、久保田先生の人を引きつける話術、そして現在の社会状況をリアルに分析した現状説明、その対処方法と

方向性を模索するという内容の講演でした。こういう集会はともすれば、一方通行的なものに陥り勝ちですがQ&Aという形で進行し質問等にも時間をさいて、保護者の方にも気軽に発言しやすいムードが漂っていた様に感じました。内容の濃い講演ができたこと本当に嬉しく思っております。関係の先生方又、進路指導委員のメンバーの方御苦勞様でした。

同和教育アンケート

集約中

教頭 大石 紘 一

本校では平成十一年度、十二年度の二年間、県よりの同和教育研究校の指定を受け、従来からの同和教育をさらに発展させるよう取り組んできました。昨年度はとまどいながらも①校内研修、校外研修への積極的参加②人権に関する図書、ビデオ教材の購入とその活用、③「同和教育たより」の発行(十七号)、

④県からの資料「明日をひらく」を使っての生徒への同和教育指導、等を実施してきました。今年、それらの実践報告書がまとまり、本校教職員、関係機関さらには保護者会本部役員とクラス実行委員の方にも頒布させていただきました。と同時に今年度の同和教育活動の一環として、また今後の教育活動の参考のための意識調査、「同和教育に関するアンケート」に協力をお願いしました。回答は教職員関係五十三名、保護者会関係七十三名からいただき、現在集約中ですが、その結果については「同和教育たより」に載せたいと思えます。特に今後の同和教育推

マナーアップ運動



第2回マナーアップ運動 9/14

進に関する意見欄では、同和教育を積極的に推進すべきである、差別を差別と認識させてはじめて差別がなくなるといった擁護意見や、意識させるから差別が起る、寝た子を起すなどといった批判意見、その他いじめの問題、外国と日本の考え方の相違等沢山いただきました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

本校では今年度も昨年同様、同和教育、差別問題、人権問題に積極的に取り組んでいく予定です。保護者の皆様にも、家庭で話題に取り上げてもらう等ご理解とご協力をよろしくお願ひ致します。

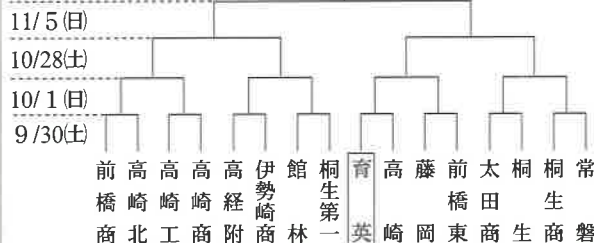
夏休みに実施された 学校見学説明会



8/18・8/19

決勝…キックオフ PM12:40 太田総合運動公園

第79回全国高校サッカー選手権 県大会組み合わせ





同窓会会長 関根 映一
(第一期生)



同窓会員の皆様には、日頃より母校の発展に、多大な御尽力を頂き、感謝申し上げます。

さて、地元新聞に育英高校の活躍ぶりが報道されるたびに、心がおどり、嬉しくもあり、誇りに思うのは、私ばかりでなく、会員一同の気持ちではなからうかと思えます。特に今年の初頭サッカーの全国大会には、連続して出場し、めざましい活躍は、全国に前橋育英高校を大いにアピールし、注目を集めたことは周知の通りであります。又、私が原稿を書いている時、シドニーでのオリンピック大会が開催しておりますが、我が母

節目の年に思うこと

小茂田 恵三
(本校教諭)



今年(ミレニアム、西暦二〇〇〇年)である。節目と言えども大きな節目はない。私事で恐縮だが、一九五〇年に生を受けた、この四月で五〇歳になった。一つの節目である。その過半に当たる二五年を育英高校のキャンパスで過ごさせていただいた。幸運だった。育英高校は素晴らしい学校だからである。

か。振り返ると、本当に長かった気がする。かくも膨大な時間量の中を、まがりなりにも一教師として過ごせたことは、周囲の皆さんのお陰とつくづく思う。良き同僚の先生方と良き生徒達に恵まれ、生かされてきたからこそ、非力な私でも二五年の歳月を重ねることができた。一方でまた、あつという間だったという気もする。その思いは、自分が年齢相応に生長できてこなかったという心の痛みに繋がっている。大方の樹木には年輪が

校出身のサッカーの松田選手も必ず活躍してくれると思っています。さて、私どもの同窓会会員も社会で元気で活躍していると思えますが、我が母校の中川校長先生が県の教育功労賞を授与されました。私学振興に尽力をされ認められた事は、先生は勿論のこと、我々同窓会員にとっても、名誉なことであり誇りでもあり、喜びでもあります。先生には、この事を契機に、充分に御身愛され、私どもに、御指導頂ければ幸と思っております。同窓生の皆様、これからも会員各位の親交を深め、さらなる御支援とご鞭撻をお願いしたいと思います。

あるが、その年輪の欠落した中身がスカスカの樹。ただ馬齢を重ねただけなのではないかと時々反省する。今年(の卒業生も加えて、育英高校の同窓生は一万五千を数える。すごい数だと思ふ。改めて本校の来し方、歴史の重みを感じる。その内、私が直接的間接的に接した生徒は数千名のぼる。だから、いちいちの思い出はこの紙面に尽くせない。若い力の無限の可能性を見、その時間を共有できた喜びと感動は何物にもかえがたい。反面、持てる力を十分引き出し生かしてやれなかった悔恨が、心に重く沈んでいつまでも消えない。その生徒達を取り巻く外界が、

親子2代同窓生



第2期生
新井 次男
(日本水彩群馬支部委員)



第31期生
秀明
(埼玉工科大学院)

私は昭和三十九年に入学した二期生です。育英高校に入学した時は、不安と自分自身の気持ちの整理で無我夢中であつたと思えます。新しい校舎、先生方にも序々に慣れてきて、教育面においては、特に中では精神面において鍛え、伸び伸びと個性を十分に発揮させる教育をして頂いたような気がして今日でも忘れられません。そんな三年間で私の生き方が変わったように思えます。私の進路については、ある事情から就職する事に決めました。知り合いの人からの勧めで、納得し、進学はしなかった訳です。しかし、すでに会社員となつて、もう、三十四年間という歳月を無事過ごしてきて、働ける喜びも味わい、人生、線引き通りではない事も感じている今日この頃です。息子(長男)も育英高で学び、現在大学院に通っています。

息子には時々言っているのですが、大学に行く、行かない、という事でなく、一人の人間として自分が何をしたいか、何を身に付けたいか、目的を持って行けば必ずや、先が見えてくるはずで、その結果から満足度やら得られる事、大と思っております。それを次に継なげていけば良いと考えます。二人目の息子は、現在三年生、進学を希望しておりますが、自分が一生懸命やりたい事をやるなら、きつと継続出来るかと考えて言い聞かせております。現在、育英は他の追従を許さない程に、発展してきているのが手に取るように感じております。これもひとえに、校長先生をはじめ、諸先生方の熱意のたまものと感謝しております。これからも、私学の特長を生かし、さらさら育英高校になります様、益々の発展を息子共々期待致しております。

TVチャンピオンで優勝!!

第十一期生

倉林 進



リアと建築を学び設計事務所に入社、その後店舗設計、施工会社と転々としたあと、二十五歳の時に(株)アトリエエスキースを設立と同時に結婚もして尚且つ高田馬場に居酒屋も開店するという忙しい二十五歳を過ぎました。居酒屋は、3年後に訳有つて閉店することになり数千万の借金を背負い込む事になり言葉では言い表せない苦しみを味わいました。でも頑張つて来れたのは、クラブで自分を

私の近況報告

まだ夢はたくさんある

第二十一期生

スタジオミュージシャン 澤野博敬



僕は現在トランペッターとして、様々なアーティストのレコーディングやコンサートツアーなどで全国を飛び回っています。高校卒業後プロを目指し東京へ出たのですが知り合いは誰も居ないし、どうしたらプロとしてお金を稼ぐ事が出来るのかも分からず、ただ、がむしゃらに公園で毎日練習をしていました。東京の公園は夜中でも楽器を持った奴らが集まっていたり、色々な面で刺激を受けました。そのうち一人、二人と仲間が増え、それがすぐに仕事へと結び付きませんが、東京に澤野というラップ吹きが居るという自分の存在が少しづつ知られ始めました。当時、トランペッターは回りの人間にかなわなかったので、音楽仲間と飲みに行けば

必ず人より多くの酒を飲み、牛井屋では皆が大盛り2杯食うという所を僕は盛り2杯食うなどと、音楽とは全く関係の無い事ですが、せめて気持ちで何とかなる部分だけは絶対に勝つてやると思い生きていました。数年が過ぎて徐々に仕事が増える様になるとそこでは、絶対に遅刻はしない、現場で会う全ての人の名前を覚え、そして名前を呼び一言でもいいから話しをする、この二点を実行する様にしました。これが簡単な様でかなり大変な事でした。今思えば、かなりくだらない事を真剣に頑張っていたなあと思いますが、その一見くだらない事のおかげで今の自分がある様な気がします。そんな僕も今年で三十三才、ちよっと一息つきたい所ですが、今でもジムでのトレーニング、楽器の練習は欠かす事はありません。まだ夢はたくさんあるので、日々精進、頑張っています。

毎日のトレーニングに体と気持ちに耐える事ができなくなった時が、この仕事を辞める時だと思っています。

僕が参加したコンサートツアーでビデオになっている中で比較的、どのレンタルビデオ屋にも置いてある様な物をいくつか書いておきますので、時間があつたら見て下さい。

- B'z~LIVE RIPPER
- サザンオールスターズ~Stadium Tour 1996
- ザ・ガールズ万座ビーチ
- SMAP~LIVE BIRDMAN
- in横浜スタジアム
- 大黒摩季~LIVE BEATS
- trf~BRAND NEW TOMORROW
- in Tokyo Dome
- bird~Tour 1999 Live
- 岡村靖幸~ファンシーゲリラ
- 矢沢永吉~Birth Day Live 1999
- 久宝留理子~COLORS

生命の中に何かを残す

いのち

第十六期生

利根中央病院勤務 宮田 貴美子



昨年より毎年行なう事となった保育科のクラス会は、なかなか足を運ぶ機会がないのと、経費節約を理由に、母校の一室をお借りしています。

普段の生活から一歩抜け出し、久々に友人と語らう時間は、あの学生時代へと戻ったように、にぎやかで楽しく、あつという間に、数時間が過ぎ去ってしまします。

当時担任であられた、田中、

黒澤両先生も出席され、今もお、それぞれの立場で、色々と学ばれていると聞き、お年を召しても(?)さらなるパワーを感じるほどでした。

私は、育英高校・短大を卒業後、現在の病院の保育園へ勤務し、あつという間に、十五年以上もの月日が経っていました。

ここは、二歳までしか預かっておらず、ここでの事は、子ども達の記憶には残る事はないでしょう。しかし、私の尊敬する師のごとく、生命の中に何か残せる保育者でありたいと、常に心に思っております。



郵政省関東郵政局の模型

私が育英を卒業してもう二十五年になります。竹内先生の初めての担任が私達三年一組でした。自分では数年前のような気がしますが、年と共に学校も成長、発展して今では全国的に知られるようになり誇りでもあります。今年の四月に、初めての第十一期生の同窓会を盛大にも開く事が出来、懐かしい顔ぶれや、担任だった竹内先生に『倉林』と大きな声でよばれると、思わず時を越え二十五年前の自分が居る事に心熱くなりました。自分もそれなりに頑張ってきたのも育英での3年間を暖かく見守って下さった先生方が居て下さったおかげで、クラブのボクシングや空手で自分を鍛えることが出来ました。当時我々を真剣に怒ってくれ、時には、一緒に笑ってくれた先生方の一言が今でも思い出されます。特に担任の竹内先生に言われた、嘘をつくな！自分だけ楽をするな！甘えるな！熱血教師の喝が甘えがちな今の自分を戒め、励ましてくれています。私は、育英を卒業後インテリアの学校でインテ

鍛えた3年間が有ったからだと思えます。その頃から設計よりも模型に興味を持ち、独学で、試行錯誤しながら模型を作り始め、私の技術が認められた頃、模型作りの良い本が無い事に気づき、だったら自分で作ろうと思ひ、自分の技術とノウハウを4年かけて撮影、キャプションの執筆と五千カットにおよぶ写真の編集と、日常業務とのせめぎ合いに泣かされたながらもようやく本を出版することが出来ました。初版に二万冊印刷し、今年六版目を発行予定です、そんなことからHNKのニュースワイドに会社を紹介されたり、TV東京のTVチャンピオンドウルハウス作家選手権に第二回と第三回に出場しました。結果は第二回が優勝、第三回が準優勝でした。ここに紹介している模型は埼玉新都心計画の郵政省関東郵政局の模型です。このような文化施設やテーマパーク、城などの展示模型からカルチュエ、ディオールなどのプレミア商品など、私しか出来ないと言われるれば模型にかかわらず何でも作っています。そして最後に、事務所が前橋に在るのに、一度も群馬の仕事をしていない事に寂しさを感じています。育英の先輩や後輩の皆さん、是非一度仕事のパートナーとして使ってください。

後援会だより

混乱から再生へ



前橋育英高等学校 後援会

会長 前田 勇

今年に入って、日本の社会は少なからず混乱の呈を示しています。不況からの脱出を目指す中で、政治や金融・産業界の一部や、連続して発生した青少年

の事件など、何故と思わずにはいられないことが、続いています。その要因はいろいろあると思いますが、新しい時代に向って、社会の価値観や意識が大きく変わりつつあり、これまでの思考や手法では追いつかなくなってきたからではないでしょうか。

少子化の急速な進行と相まって、幼児教育から大学教育まで、これまた変革を余儀なくされています。後援会としても、前橋育英高校とそこで学ぶ生徒の皆さんの学校生活が不安なものであるよう、後援会諸氏のご支援を心からお願いたします。

平成12年度後援会定期総会終了 総会終了後引き続き 高校総体男子総合優勝祝賀会に出席

例年のように、六月三十日に大友町グランドベルズで開催されました。今年は特に大きな議案はなく、事業報告・決算報告・事業計画・予算案が承認されました。

総会終了後、同所で開かれた総体優勝祝賀会にこぞって出席、各部の活躍・成績を祝い、関係者の皆さん方と歓談・懇親を深めました。

全国高校総体二年連続優勝

水泳女子・飛び込み

片平 真貴さん
岸 美菜子さん

後援会で表彰



岸 美菜子選手



後援会で表彰

後援会として、これまで各クラブの活動に対し、年間の援助金を交付してきたところですが、このたび水泳女子飛び込み学校対抗で、二年連続全国総体優勝という快挙の報を受け、改めて顕彰することいたしました。

去る九月十八日、前田後援会長・城田後援会常任理事・中川学校長他学校関係者出席のもと、両君に対し表彰状が手渡されました。

他の部・クラブの諸君も両君に続き、全国優勝を目指し一層の精進を期待いたします。



総会風景



男子総合優勝祝賀会

コラム

-17歳-

十七歳の事件が世上を騒がせている。十七歳は大人なのか、子どもなのか。児童福祉法では十八歳未満までを児童と定めている。その意味では、彼らは児童であり、保護されるべき対象である。そして、成人は二十歳、十八歳と二十歳の間は何なのであるか。

私論ではあるが、義務教育十五歳までは児童福祉法で、それ以降十八歳までは青少年法でもつくり、十八歳過ぎたら成人とし、選挙権も与えるべきと思う。高校を卒業、就職し税金を納めるようになれば立派な社会人であるし、はたまた大学生になった者を、もはや子ども扱いは出来まい。

彼らの自覚を期しての仮の話ではあるが、いかがであろうか。
(S記)

- 前橋育英高校報 広報委員メンバー**
- 保護者会文化委員長 山本由美子
 - 同窓会副委員長 吉田 幸一
 - 後援会常任理事 城田 博己
 - 本部企画広報室長 葉名 正光
 - 高校教頭 大石 紘一
 - 高校事務次長 根岸 豊年